

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

# 国際・地域連携センター ニュースレター 〈第11号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者:吉用

## はじめに

### 土佐 FBC 最終年度 25年度以降の継続に向け、最終段階

平成24年度最初のニュースレターをお届けします。国際・地域連携センターは、「敬地愛人ー地域を敬い人を愛する」精神を持ち、地域と連携し、地域発展のために邁進してまいりますので、今年度もよろしくお願い申し上げます。

地域との連携事業の柱の一つとして「土佐フードビジネスクリエーター人材創出(土佐 FBC)」を、文部科学省からの補助を受けて20年度から実施してきました。これまでに県内の食品産業を担う中核人材を育成し、送り出してきましたが、今年度が文科省から補助を受けることのできる最終年度になります。

人材育成は継続して長期にわたり取り組まなければ成果は残せません。これまでに、土佐 FBC の継続に向けて県や市町村、地元企業とともに協議を重ねることで、25年度からの土佐 FBC の形が見えてきました。24年度はさらに協議の輪を広げ、地域に根付いた人材育成事業になるよう、最後の詰めを行います。

今後とも土佐 FBC への一層の御力添えをお願いいたします。

## 目次

p1 はじめに

p2 地域連携・再生部門

Topic1. 4期生37名に修了証書を授与

Topic2. 「元気にハツラツと過ごすための運動」

p3 産学官連携部門

Topic1. 産学官ネットワークによる研究開発の推進

Topic2. 革新的技術シーズを被災地企業で実用化

p4 知的財産部門

Topic1. 展示会・シーズ発表会等のご案内

Topic2. 本学における知的財産の取扱等を説明

p5 国際連携部門

Topic1. 「支援とは？」

Topic2. プログラム参加留学生2名が高知県内企業に就職

## Topic 1. 4期生37名に修了証書を授与 ～土佐 FBC 修了式・成果発表会の開催～

3月16日(金)、高知会館にて土佐 FBC 人材創出事業の平成23年度修了式および成果発表会を開催しました。修了式では相良前学長から修了生37名に修了証書を授与しました。修了式の後、同会場にて成果発表会を開催しました。

### 基調講演

宮中 仁 高知県地産外商公社 まるごと高知 物販店長(土佐 FBC1期生)  
“まるごと高知から見た高知県の食品加工”

### 修了生発表

内牧 陽菜(Bコース)	高知大学農学部	“高知で生きる自信に”
清藤 浩史(Cコース)	(株)坂田信夫商店	“学んだことを現場で生かす為には”
古谷 彰啓(Aコース)	渋谷食品(株)	“芋けんぴ製造における品質管理に関する研究”
矢野 真由美(Aコース)	ドルチェかがみ	“ヘルシージェラートの製造方法の確立と商品づくり”

平成20年度～23年度までの4年間で延べ115名の修了生を送り出すことが出来ました。修了生には、今後は中核専門人材として地域の活性化のために寄与していただくことを期待しています。



## Topic 2. 「元気にハツラツと過ごすための運動」 ～芸西村にてロコトレ説明会～

高知大学と芸西村は平成24年1月27日に連携協定を締結し、お互い協力しながら連携事業を進めていくこととなりました。そのひとつに、ロコモーショントレーニング(ロコトレ)による村民への健康増進事業があります。ロコトレとは、お年寄りが家で寝たきりにならないために、家庭で実践できる簡単な運動プログラムです。

ロコトレに対する村民の理解を得るため、3月23日(金)、芸西村民会館にて説明会を開催しました。医学部 石田先生と永野先生を講師とし、村民約60名にご出席いただきました。

今後は、地域から協力者を募り、ロコトレを普及することで、お年寄りの健康増進のために貢献してまいります。



## Topic 1. 産学官ネットワークによる研究開発の推進

### ～高知県産学官連携産業創出研究推進事業の募集案内～

高知県ホームページに、高知県産学官連携産業創出研究推進事業の募集案内がありましたので、お知らせします。「産・学」又は「産・学・官」で構成し共同研究を行うものとなっています。応募される場合は、平成 24 年 6 月 12 日(火)までに国際・地域連携センター産学官連携部門(地域連携課産学官連携係)まで提出願います。

#### －平成 24 年度高知県産学官連携産業創出研究推進事業委託業務－

県内に新事業・新産業を創出することによって本県の産業振興につなげるため、県内の産学官が連携して実施する、大学等の研究シーズや企業ニーズに基づく実用化研究(実験室で試作品が完成するなど、3年以内に事業化研究に移行することなどが見込まれる研究)を行う委託業務の実施にあたり、公募型プロポーザル方式による企画提案書の募集を行います。

高知県への企画提案書提出期限

平成 24 年 6 月 22 日(金)午後 5 時 15 分必着

公募事業の詳細内容、提案書様式等は下記ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/151901/h24fy-koubo.html>

## Topic 2. 革新的技術シーズを被災地企業で実用化

### ～JST復興促進センターからのお知らせ～

JST 復興促進センターから、「産学官連携による東北発科学技術イノベーション創出プロジェクト」の一環として、以下のプログラム実施について案内がありましたので、お知らせいたします。

#### 【復興促進プログラム(マッチング促進)】

JST 復興促進センター仙台事務所、盛岡事務所、郡山事務所に配置するマッチングプランナーが産学官連携支援機関の協力のもとに、被災地企業のニーズを発掘し、これを解決できる被災地を始めとした大学等の技術シーズとマッチングし、産学共同研究を実施します。申請を希望される際には[各事務所](#)までご相談ください。

#### 【復興促進プログラム(A-STEP)】

JST の既存プログラム「研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)」のフェージビリティスタディ(FS)ステージの「探索タイプ」と「シーズ顕在化タイプ」のスキームを活用して、被災地ニーズを踏まえたシーズ育成の支援を行います。

#### 【復興促進プログラム(産学共創)】

JST の既存プログラム「産学共創基礎基盤研究プログラム」のスキームを活用し、東北産業界が望む特定の技術的課題(技術テーマ)の解決に資する基盤研究への支援を行います。また、産と学の対話の場である「産学共創の場」を構築し、東北産業界の視点や知見を研究にフィードバックすることで、「技術テーマ」の解決を加速し、復興促進に資する成果の創出を目指します。

公募内容の詳細については、下記ホームページをご欄下さい。

<http://www.jst.go.jp/fukkou/about/index.html>

## Topic 1. 展示会・シーズ発表会等のご案内 ～BIO tech 2012 開催～

最先端のバイオ技術に関する国際的な講演会・展示会である「BIO tech 2012 ～ 第11回 国際バイオテクノロジー展／技術会議 ～」が4月25日(水)～27日(金)に、東京ビッグサイトにて開催されました。

今年は、世界中のライフサイエンス研究機器メーカーや試薬メーカー、バイオテク企業、大学・研究機関など過去最多の650社が出展し、350件の講演があり、本展示会において企業との共同研究・製品化などに繋がる事が期待されています。

本学において本展示会は「イノベーティブマリンテクノロジー研究者育成」のテニユア・トラック教員における研究成果の発表の場となっており、今回は以下2名の研究者が講演・パネル展示を行うと共に、他研究者については各研究概要チラシを配布しました。

- ・教育研究部 総合科学系 複合領域科学部門 特任講師 片岡正典先生  
「すべての核酸塩基塩基対を形成する人工塩基PPT」
- ・教育研究部 総合科学系 複合領域科学部門 特任助教 Ulanova Dana 先生  
「新天然化合物を産生する海洋微生物の探索」

### **BIO tech 2012** 国際バイオテクノロジー展／技術会議

会期:2012年4月25日(水)～27日(金) 10:00～18:00(27日[金]のみ 17:00 終了)

会場:東京ビッグサイト 主催:リード エグジビション ジャパン株式会社

## Topic 2. 本学における知的財産の取扱等を説明 ～平成24年度全学新任教職員研修～

4月6日(金)に開催された「平成24年度全学新任教職員研修」において、本学での知的財産の取り扱い、関係規則等について説明を行いました。

主な内容は以下の通りです。

- ・教職員が発明をした場合、「発明届」の提出が必要である。
- ・教職員の職務から生じた発明は「職務発明」となる。
- ・「職務発明」に基づく知的財産権は、個人ではなく、大学に帰属するため、特許出願は大学が行う。
- ・「職務発明」を特許出願し、登録された場合、大学から発明者に補償金が支払われる。
- ・技術移転により収益が発生した場合、特許出願等に要した諸費用を除き、残りの部分を発明者(60%)、大学(40%)で配分する。

### 【知的財産に関する問合せ先】

高知大学 国際・地域連携センター 知的財産部門 担当:武内、野上

mailto:[kt05@kochi-u.ac.jp](mailto:kt05@kochi-u.ac.jp) TEL:088-844-8418 FAX:088-844-8556

ホームページ <http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/%7Eckkc0001/chizai/>

## Topic 1. 「支援とは？」

## ～国際・地域連携センター国際連携部門セミナー開催～

3月4日(日)に国際・地域連携センター国際連携部門セミナーを UNICEF ソマリア保健・栄養・水の衛生プログラム事業部長である國井修氏を講師として開催しました。ソマリアの現実を聞くことができ、本当に必要な支援とは何かについて、考えさせられる有意義な内容でした。(参加人員 22 人(教職員 15 人、学生 6 名、学外者 1 人))

Topic 2. プログラム参加留学生 2 名が高知県内企業に就職  
～「アジア人財資金構想」高度実践留学生育成事業  
22 年度生修了式～

平成 19 年度から日本企業への就職を希望する留学生への支援として、ビジネス日本語授業やインターンシップ事業等を実施してきた「アジア人財資金構想」高度実践留学生育成事業(23 年度は高知大学独自事業)の 22 年度生修了式が 3 月 15 日(木)に行われました。式では、谷口国際・地域連携センター国際連携部門長から、母国と日本のかけ橋となって活躍してほしいとの言葉が送られ、修了生からは、このプログラムへの参加が良い経験になったことへの感謝の意が表されました。

